

犬&猫の飼い方 注意情報

気候の良い日のおでかけマナー

お出かけには最適な季節となりました。ワンちゃんたちを連れてドライブやキャンプ、旅行などに行くことが多くなる時期。今回はそんなお出かけに際してのお話です。

いつものお散歩では、ノーリードで散歩しないのは当たり前前のルールです。しかし、お出かけの際に車の中で犬を自由にさせていませんか？犬が運転席に来てしまうと、運転に集中できなかつたり、ハンドルを取られてしまつたり、犬が間に入ってブレーキを踏むことができなかったりと、事故につながってしまうケースも！また、犬が窓から顔を出している姿もよく見かけますが、思ってもみない物にぶつかり大けがをすることもあるので注意してくださいね。



この他にも、車の後部座席に乗せていて、高速道路を降りる際の急カーブで車の窓から落ちてしまった小型犬の例や、飼い主さんが車の外に出た時に犬が飛び出してしまい、行方不明になったり車に引かれてしまったという例もあります。

車の移動ではキャリーケースなどに入れて、運転の妨げにならないようにするとともに、突発的な事故から愛犬を守ってあげましょう。犬に負担が少ないようハーネスで固定する犬用のシートベルト等も売られていますので、愛犬にあった物を検討してみてください。

愛犬たちを守るのも飼い主さんです。ワンちゃんと共に安全で快適な秋の行楽をお楽しみください。

(M.Y)



インタビュー

センターから譲渡されたニャンコその後、どうしていますか？

家族に迎えて

センターから“卒業”した、うめという11歳のメス猫がいました。普段はおとなしく、抱っこもさせてくれるのですが、急に「シャー」と威嚇したり、手をガブッと噛むこともあり、「うめさんを全て受けとめてくれる人でないと、譲渡は難しいかも」と、多くのボランティアスタッフが思っていました。そんな今年の2月、「うめさんをぜひ」と言って下さる方が現れました。あれから半年経った現在。「良いことがたくさんありますように」と、梅吉という小粋な名前をつけられて、大切にされていました。飼い主の脇田さんは、「私は生まれた時からずっと猫や犬のいる家庭で育ちました。どの子も拾ってきたり、迷いこんできた飼い主のいない子たちです。私も猫をもらうなら、センターから決めていました」



お洋服を着ているのは、皮膚病のため。▼でも、よく似合ってる！

脇田麻紀さんと梅吉さん

「猫さんの役に立ち、お世話したい」とセンターを訪れた脇田麻紀さん。「今では梅吉さんがいないと困るほど、私の方がお世話になっています(笑)」

見学当日、センターにはかわいい子猫もたくさんいましたが、脇田さんの心を奪ったのは、うめさんでした。「横顔がなんてステキ♡凛とした風格があって、もう一目惚れでした。センターの獣医さんから、この子の扱い方などの注意点を聞きましたが、何の問題もありませんでした」

梅吉さんも脇田さんにすぐに馴れ、おうちにきて2日目には同じベッドで寝るようになり、起きている時もふたりは常に寄り添っています。「かみ癖は今もあります、そうなる前に察すればいいだけ。梅さんは自分を知っているというか、いろんな面で頭のいい子ですね。私の方が彼女に頼り切っていて、「姉さん」と呼んでいます(笑)。本当に私にはもったいないヒトです。すいませーん、親バカで(笑)」

いえいえ、センターから卒業した子たちの幸せを見届けることが出来て、私も幸せな気持ちになれたのですから。梅吉さん、脇田さんのためにも元気でうーんと長生きして下さいね。(M・I)



▲脇田さんに抱っこされて、ご機嫌な梅吉さん。

愛ランド通信

～人と動物の共生を目指して～ 平成28年度秋号



特集
犬とはじめる
すてきな生活
目直都

日本人と犬が生活を共にしたのは、縄文時代(約1万年前)にまでさかのぼると言われています。人間と一緒に墓に埋葬されている犬がいたというのですから驚きですね。皆さんの中には、「犬と一緒に暮らしたい!」と思っけていても、「犬を飼うのって難しそう」という不安をお持ちの方もおられるのではないのでしょうか。

犬をかう前の予備知識

Q 避妊去勢は必ず必要ですか？

A 子犬を産ませる目的がなければ、実施することのメリットはたくさんあります。望まれずに生まれてくる犬を増やさないだけでなく、病気の予防にもつながります。オスなら前立腺、メスなら子宮や卵巣などの生殖器に関する病気が予防できます。そして、オスの場合は縄張り意識によるマーキングや攻撃性が弱まる可能性があります。メスは、偽妊娠により、タオルやぬいぐるみを自分の子供と思い込み、取り上げようとする飼い主でも噛みつくなどのトラブルを抑制できます。なにより、発情期の精神的ストレスから解放してやる事ができます。ただし、手術には費用がかかり、全身麻酔のリスクも伴います。また、食事で予防できますが、肥満になりやすいとも言われています。獣医師と相談し、適切な時期に行うようにしましょう。

Q 犬の登録や狂犬病予防の注射は受けないといけませんか？

A 受けていない場合は法律違反となり、罰則もあります。生後91日以上の子犬には市区町村への登録と毎年1回の狂犬病予防接種が法律によって定められており、その際に発行される鑑札や注射済票を首輪などに付けておくことも義務付けられています。狂犬病予防の観点から、鑑札や注射済票を付けていない犬は、飼い主不明犬として抑留され、飼い主が判明しなければ処分の対象になる可能性もあります。

センターへのアクセス

- 近鉄十条駅から徒歩5分
- 京都市営地下鉄烏丸線 十条駅から徒歩15分
- 京都市営バス十条大宮 停留所から徒歩5分

※無料駐車場はございません

〒601-8103 京都市南区上鳥羽仏現寺町11番地
電話:075-671-0336 FAX:075-671-0338
開所時間:午前9時~午後5時
休所日:木曜日(祝日の場合は翌金曜日)、年末年始

発行:京都動物愛護センター 平成28年10月28日

秋のイベント
1 秋の日の喜ぶ
2 暗いリードが変なところからまきかがある
3 首輪やリードに反射板が付いているのがあるよ!
4 懐中電灯も持って行くぞ便利だよ

懐中電灯でウツチ探しも楽チン!

編集 犬も高齢化で介護が必要となってきており、そして必ず最期がやってきます。その時、私にもベッロス症候群がやってくると思っています。覚悟を決めて犬を飼う事にしたのに自信がありません。後記 考えていた以上に犬との生活が楽しく、いつまでも同じ時間を過ごしたいと思うからだと思います。そういう存在でいてくれることに感謝しています。まだまだご機嫌で楽しく暮らしていこうね。(S.W)

本誌は“京都市人と動物が共生できるまちづくり基金”からも出資していただいています。まちづくり基金に寄付していただいた方の御名前はホームページにて公開いたします。なお、寄付の方法についても、こちらのホームページでご覧いただけます。

京都動物愛護センター 検索



特集

犬とはじめる
すてきな生活

日直
都



犬をかう前の予備知識

Q 散歩はかならず必要ですか？

A 散歩は、犬の運動のためだけでなく、犬の本能である縄張りを確認したいという欲求を満たしたり、ストレス解消にもつながるので、した方がよいでしょう。超小型犬であっても、外の世界を知らないと人間社会に適応できず、問題行動につながる可能性もあるので、ぜひ散歩をしてあげましょう。ただし、犬の年齢や体調、これまでの育成環境を考慮したうえで、犬に負担にならないよう適切にしてくださいね。また、雨が降っているときに散歩をしたがらない犬がいます。一説には、犬の祖先であるオオカミの名残だと言われています。雨の日は獲物になる動物も行動を控えるので、無駄な体力消耗を抑えるのではないかと、というものです。雨の日に散歩に行きたがらないのに無理に連れ出して、散歩嫌いにならないようにしたいですね。

Q 犬のしつけは必要ですか？

A 人間社会の中で、他の人に迷惑をかけないためにも、しつけは必要です。しかし、しつけと考えずに犬との信頼関係を築くつもりで楽しく行いましょう。難しく考えて叱ってばかりいても、犬は何について怒られているのか理解できません。遊びや散歩など日常生活のなかで、ルールを教えていきましょう。十分なエネルギー発散の機会を与え、好ましい行動はしっかり褒めることによって信頼関係を確立することができます。犬のしつけ方については、本やネット情報・ドッグトレーナー等、たくさん存在し、犬への教え方は千差万別です。自分や犬の個性に合った方法を選び、無理なく教えていくことが大切です。また、犬のしつけを通して、飼い主さん自身も様々なことを経験し、周囲への配慮ができるようになれば、周囲の犬嫌いの方に与える印象も変わってくることでしょ。



Q 京都動物愛護センターから子犬を引き取ることは可能ですか？

A 京都動物愛護センターからの子犬の引取りを希望されている方は多くいますが、現在、センターに収容される犬に子犬はほとんどいません。確かに子犬は可愛いですが、教えないといけなくも多く、やんちゃな時期も共に過ごすことになりま。特に歯の生え変わる頃の家具への破壊行動は、驚く方もいるかも知れません。センターの収容犬は1歳以上の成犬ですが、その多くが、「飼い主が高齢になったため、世話ができなくなった」など、人間側の理由で手放された犬や、所有者不明犬として保護されたものの、お迎えが来なかった犬たちです。そして、京都動物愛護センターでは、専属のドッグトレーナーさんが必要に応じて収容犬をトレーニングし、譲渡に当たっても新しく飼い主となる方に助言しています。また、譲渡後も問題があった場合には、相談を受け付けているので、安心して引き取っていただくことができます。捨てるのも人間ですが、救うのも人間です。どうぞ、保護犬の新たな飼い主になることもご検討ください。

終生飼養のお願い

当たり前ですが、犬を飼うに当たっては毎日お世話が必要です。就職、結婚、子育て、転居等、ライフスタイルが大きく変わる時には犬の世話が負担になる場合もあります。また、長期入院することもあるかもしれません。万が一に備え、犬を一時的に預かってくれる方や引き継いでくれる方を探しておくことも大切です。そして、犬を飼ったら最期をみとるまでお世話をしてください。そのために意外と重要なのが「どんな犬を迎えるか」です。

テレビ等で人気の犬種が出て来ることがありますが、残念なことに、「かわいいから」というだけで、十分な下調べをせずに飼いはじめしてしまう方もいます。個体差もあるので一概には言えませんが、犬種によってある程度の性格の傾向(犬種傾向)があります。また、特定の犬種ごとに発生しやすい先天性疾患や病気もあります。流行に惑わされずに、犬種傾向を調べたうえで、犬と一緒にやりたいことや飼い主さんの年齢、家族構成などを考慮して迎える犬を選び、「こんなはずではなかった」と後悔することがないようにしたいですね。大切なのは、外見、性格、健康面など、たとえ欠点があっても受け入れる覚悟です。いくら十分に検討して迎えたとしても、多かれ少なかれ問題は起こるものです。犬との良い関係を築いていくために努力する過程にこそ価値があり、犬はその努力に応えてくれるとものだと思います。



▲よい関係を！

●なぜ犬を飼うの？
このように見ていくと、犬を飼うのは大変だと思われると思います。しかし、それを差し引いても犬との生活は大変楽しく充実したものになります。愛情を注げば注ぐほど犬との関係が親密となっていき、言葉が通じないはずなのにお互いの考えていることが理解できたように感じる方も多いのではないのでしょうか。これこそ犬と一緒に暮らすことの一番の魅力ではないかと思ひます。犬は人間のベストパートナーと言われている。一万年も前から日本人と犬と一緒に生活してきたわけですから、上手に付き合えばうまくいくのは間違いないと思ひます。犬との素敵な生活をはじめてみませんか？(S.W & iroha)

シャンプー・カットできる部屋あります。

トリミングルームご利用ガイド

センターでこんなことやってます！

飼われているペットを、ご家庭でシャンプーされたことがありますか？センターのトリミングルームは、次のような特徴があります。

- ① 冷暖房完備のトリミング専用部屋
- ② お世話をしやすいように、深さのあるシンクを設置
- ③ 大型ドライヤーの貸し出し
- ④ リードを固定できるトリミング台

※ご利用には、登録が必要です。

ドッグランで思いっきり遊んだのだけれど、お腹まで泥がついてしまった。ちょっと、おめかししとかなくちゃ。そんなとき、利用してみたいかがでしょうか。(簡単に手順をご案内します。)

- ① 予約ができませんので、空き状況を確認してください。
- ② シャンプー・ハサミ・タオル・ブラシなどは、ご持参ください。
- ③ センター窓口で、利用料金 1000 円/時間をお支払いいただきます。

▲かゆいところは、ありませんか？

あれっ！▶
もう乾いたね

- ④ 先に、排泄を済ませておきましょう。
- ⑤ さあ、シャンプー開始。ややぬるめの湯温で、シャワーは身体から離さず、なるべく密着させるように足から濡らしていきましょう。
- ⑥ シャンプーが済んだらトリミング台に移り、タオルで水分を大まかにふき取り、大型ドライヤーで乾かします。
- ⑦ 足裏の毛が多いとスリッパしてけがの元になりかねませんので、カットができる場合は、してあげてもいいでしょう。

わぁ！見違えるように、きれいになりましたね。最後に、使った部屋を次の利用者さんのために、清潔にさせていただいて終了です。(A、S)

ご利用ガイド

利用時間 午前 9 時～午後 5 時 (木曜日・年末年始は休所)

登録手続 ヒルズドッグランと同様です。(登録料：無料)

使用登録申請書、犬鑑札の写し、直近 1 年以内の狂犬病予防注射済票及び規定の混合ワクチン接種証明書の写し、犬の写真が必要です。

利用料金 1000 円/時間

詳細は、ホームページをご覧ください。センターにお問い合わせください。

ボランティアスタッフ
活動紹介

研修も受けてます！

ボランティアは、シフトによって、来所者の対応をする「案内活動」と収容されている犬猫の世話をする「管理活動」をしています。オープン当初より、ボランティア 1 期生と 2 期生が活動を続けてきましたが、この 4 月からは新たに 3 期生が加わり、さらに充実した活動を目指します。

研修で色々な経験

京都動物愛護センターでは、現在約 80 名のボランティアが登録をして日々活動を行っています。ルーティンの「案内活動」や「管理活動」等に生かすため、年に 1 回程度ではありますが、他施設を見学する研修会を行っています。平成 27 年度は、亀岡市にある関西盲導犬協会の施設見学に行きました。盲導犬の説明を受け、訓練の様子等を見学しました。視野が欠ける特殊なゴーグルをつけて、目の不自由な方の疑似体験をすることができて、とても有意義でした。

今年度はセンター支所の見学、京都市動物園バックヤードツアー及び動物園ボランティアとの交流がありました。動物園では、普段入ることのできないゾウ舎を見学し、45 歳の美都の貫録と 4 頭の子ゾウの元気いっばいの可愛さにとても感動しました。また、交流会も楽しく、時間

▲盲導犬の訓練を見学

▲研修中！

今年も第 4 期生の募集があり、ただ今養成講座開催中です。来年の春には 4 期生も活動に入ります。ボランティアスタッフの人数も増え、ますます活動が充実したものになっていくと思ひます。犬や猫の役に立ちたい人は、ぜひボランティアに応募してくださいね。待っています。(nasubi)